

インドネシア映画を代表する
巨匠リリ・リザ監督を中心に、
インドネシア映画の秀作の特集。

通常上映

リリ・リザ監督と インドネシア映画

60年代の中国の幼稚園を舞台とした
中国映画の秀作。福岡初公開。

特別企画

小さな赤い花

夢追いかけて

小さな赤い花



通常上映

インドネシア映画を代表する巨匠リリ・リザ監督を中心に、インドネシア映画の秀作の特集。

リリ・リザ監督とインドネシア映画

会期: 10月5日(水)~10月22日(土)

※休館日・休映日除く

観覧料: 500円(大人)/400円(大学生・高校生)/300円(中学生・小学生)

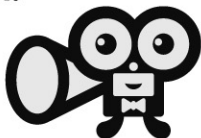
※定員制。各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※障がい者の方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は250円。

(手帳の提示が必要です。)

※「わの会」会員は250円(会員証の提示が必要です。)



10/6 (木) 19:00 | 8 (土) 11:00

永遠探しの3日間

3 Days to Forever

ユスフはジャカルタ大学の学生。従姉妹の結婚式で使う一族伝統の食器をジョグジャカルタまで車で運ぶことになる。車には19歳の従姉妹アンバルが同乗し、二人はのんびりと目的地に向かう。わずか3日間の旅だが二人は様々な会話を交わし、それは忘れられない旅となるのだった。



監督: リリ・リザ
出演: ニコラス・サプトラ
アディニア・ウィラスティ

2006年/35ミリ/カラー/104分/インドネシア/日本語・英語字幕付き

10/7 (金) 19:00 | 10 (月・祝) 11:00

ドゥルの少年期

Doel, The Betawi Boy

ジャカルタ郊外に住む少年ドゥルは学校で勉強したいと思っていた。しかし父親は子供はコーランが読めればそれで良いと聞き入れてくれない。ある日、父親が事故死してしまい、ドゥルは母親の菓子売りの手伝いをしなければならなくなる。首都ジャカルタに地方から仕事を求めてやって来た人々を、ドゥルを中心に描いた作品で当時大ヒットした。



監督: シュマンジャヤ
出演: ラノ・カルノ フィフィ・ユン

1973年/35ミリ/カラー/86分/インドネシア/日本語字幕付き

10/10 (月・祝) 14:00 | 14 (金) 14:00

無神論者

Atheist

1940年代末、オランダ植民地時代のジャワ島。イスラム教の信仰を持つハッサンは、幼馴染みのルスリと再会する。ルスリは革命を目指すマルクス主義者で、無神論者だった。ルスリを神に目覚めさせようと努力するハッサンだが、ルスリの妹のカルティニに次第に惹かれていく。戦争中にインドネシアを占領した日本軍の描写があることが興味深い。



監督: シュマンジャヤ
出演: テディ・ストモ
クスノ・スジャルワティ

1974年/16ミリ/カラー/147分/インドネシア/日本語・英語字幕付き

10/15 (土) 11:00 | 21 (金) 14:00

砂利道

Sharp Pebbles

中部ジャワの村。女子高生レトノは村の金持ちの息子の紹介で、妹と共に町に働きにでる。ところが町にいくと二人は身売りされそうになる。必死の思いで逃げ出した二人は、職を転々としながらジャカルタにやってくる。80年代の経済発展により引き起こされた社会の矛盾を告発した作品。



監督: シュマンジャヤ
出演: クリスティン・ハキム
ウェンティ・アンガライニ

1984年/35ミリ/カラー/122分/インドネシア/日本語・英語字幕付き

10/6 (木) 14:00 | 9 (日) 11:00

夢追いかけて

The Dreamer

インドネシアのプリトン島。鉱山労働者の父を持つイカル、孤児のアライ、同じモスクに通うジンプロンは仲の良い友人だった。高校に進学した彼らは、それぞれの夢を叶えるために学校に通う。「虹の兵士たち」の続編であり、「虹の兵士たち」に登場した子供が成長し、経済的困難を克服しながら夢に向かって進んでいく姿が描かれる。



監督: リリ・リザ
出演: レンティ・アフマド
フィクリ・セプティアン

2009年/35ミリ/カラー/122分/インドネシア/日本語・英語字幕付き

10/7 (金) 14:00 | 9 (日) 14:00

GIE

GIE

中国系インドネシア人、スー・ホッ・ギーは、59年にインドネシア大学に進学、共産主義活動を行う。文才があったギーは雑誌や新聞に投稿し、大学内では欧米の優れた映画の紹介などを行った。26歳の若さで亡くなったギーの日記を元に彼の生涯を映画化した作品。当時の政治状況がリアルに描かれる。



監督: リリ・リザ
出演: ニコラス・サプトラ
シタ・ヌルサンティ

2005年/35ミリ/カラー/147分/インドネシア/日本語・英語字幕付き

10/8 (土) 17:00 | 14 (金) 19:00

蚊帳の中

Behind the Mosquito Net

妻のヌルレラの家に義理の兄と同居するハサンは、会社を辞めてタクシー運転手をするのだが、それを家族に言うことができない。ヌルレラは夫のために家を借りるお金を借金するのだが、ハサンは逆に怒って家出をしてしまう。大スターであるクリスティン・ハキムとスラムメット・ラハルジョ・ジャロットが等身大の庶民を演じた作品。



監督: トッグ・カルヤ
出演: クリスティン・ハキム
スラムメット・ラハルジョ・ジャロット

1982年/35ミリ/カラー/94分/インドネシア/日本語字幕付き

10/13 (木) 14:00 | 15 (土) 17:00

少女ポニラー

Ponirah

ポニラーは裕福な家庭の少女だったが、ポニラーが生まれて母親はすぐに亡くなり、兄も事故でなくなってしまう。父親は家族の不幸をポニラーのせいだと考え冷たく当たってしまう。地方と都市の経済格差や社会の歪みなどが、ポニラーを中心に描かれ、高く評価された。人気スターだったスラムメット・ラハルジョ・ジャロットが監督としても認められた作品。



監督: スラムメット・ラハルジョ・ジャロット
出演: クリスティン・ハキム
ライ・サハタビ

1983年/35ミリ/カラー/107分/インドネシア/日本語字幕付き

10/15 (土) 14:00 | 20 (木) 19:00

母

Ibunda

貴族出身の未亡人ラヒムには5人の子供がいた。長女は結婚し、長男は軍隊に入る。二男は俳優であり、三男と二女はまだ学生だった。映画は子供達それぞれが抱える問題をラヒムが懸命に解決しようと努力する姿を描く。大家族制であるインドネシアの家族の絆と愛情を描いた傑作である。



監督: トッグ・カルヤ
出演: アレックス・コマン
ニニック・L. カリム

1986年/35ミリ/カラー/103分/インドネシア/日本語字幕付き

10/5 (水) 14:00 | 8 (土) 14:00

虹の兵士たち *The Rainbow Troops*

1974年、インドネシア南スマトラのプリトン島。この島にはスズ鉱山があり比較的裕福な家庭が多かった。ハルファン校長が経営するムハマディヤ小学校は、長い伝統があったが、年々新入生が減っており、今年はイカルをはじめ10人の新入生が入学する。新人女性教師のムスリマは、そんな子供達を「虹の兵士たち」と呼んで熱心に指導する。独立記念祭では各学校が様々な出し物を行うが、音楽が好きなマハルを中心に独創的なダンスを考案し、見事優勝する。またクイズ大会では計算が得意なリンタンが大活躍し、優勝するのだった。

本作の原作は実際にプリトン島で成長した作者の自伝的色彩の濃いものである。個性ある子供達が眩しいくらいに輝いている作品だが、主人公となるイカルを始めすべて監督がプリトン島でオーディションを行って見つけた子供達である。ただし本作は少年時代の友情やノスタルジーを描いただけの作品ではない。豊かな鉱物資源に恵まれた島に存在する厳然たる貧富の差と、それがもたらす問題をしっかりと背景に描いている。インドネシアでこの年最大のヒット作となった素晴らしい傑作であり、続編の「夢追いかけて」と共に多くの観客に観てほしい作品。

2008年/35ミリ/カラー/125分/インドネシア/日本語・英語字幕付き 監督:リリ・リザ 出演:チュッ・ミニ ズルファニ



10/16 (日) 11:00 | 21 (金) 19:00

ナガ・ボナル将軍

Naga Bonar

1945年。スリで前科者のナガ・ボナルは友人のブジャンと共に独立戦争に参加する。戦闘経験などなかったナガ・ボナルだが、口八丁で出世し、オランダとの交渉を有利にすすめる。停戦としてしまう。独立戦争をテーマとしたコメディ映画で、当時のインドネシアでは異例の作品だったが、現在では古典的名作となっている。



監督:M・T・リシャフ
出演:デディ・ミスワル
ヌル・アリフィン

1987年/35ミリ/カラー/108分/インドネシア/日本語字幕付き

10/16 (日) 14:00 | 22 (土) 14:00

チュッ・ニャ・ディン

Tjoet Nja' Dhien

19世紀後半、スマトラ島北部のアチェ王国。オランダとの戦いの中で倒れた夫の意志をついだチュッ・ニャ・ディンはアチェの人々を団結させた。しかしゲリラ戦と移動の日々の中で彼女は次第に健康を害していく。独立戦争の英雄として讃えられる女性、チュッ・ニャ・ディンの半生を描いた作品で、国際的にも高い評価を得た80年代インドネシア映画を代表する傑作。



監督:エロス・ジャロット
出演:クリスティン・ハキム
スラメット・ラハルジョ・ジャロット

1988年/35ミリ/カラー/133分/インドネシア/日本語字幕付き

10/19 (水) 14:00 | 22 (土) 17:00

一切れのパンの愛

Love in a Slice of Bread

まもなく結婚して1年となるハリスとマヤンは、休暇をとって旅行を計画する。そこへ二人の幼馴染みのトパンがやってきて3人で旅行をする。実はトパンは以前からマヤンの事が好きだった。ハリスは性的コンプレックスを抱えていた。旅の間に3人の関係は微妙に変化していく。巨匠ガリン・ヌグロホ監督のデビュー作であり、本作で監督は一躍注目された。



監督:ガリン・ヌグロホ
出演:ティオ・バクサデオ
アジ・マッサイド

1991年/35ミリ/カラー/97分/インドネシア/日本語字幕付き

10/20 (木) 14:00 | 22 (土) 11:00

いきなり、ダンドゥット

Suddenly Dangdut

ペトリスはロックシンガーとして成功していた。ところがある日、姉ユリアのボーイフレンドが麻薬所持をしていたことから、ペトリスはユリアと共に警察に逮捕されてしまう。護送中、隙を見て逃げ出した二人はダンドゥットの楽団に紛れ込む。ペトリスはいよいよダンドゥット・シンガーとなって村を回るのだった。軽快な演出の娯楽作品で、インドネシアで大ヒットしている。



監督:ルディ・スジャルウォ
出演:ドゥイ・サソノ
ティティ・カマル

2006年/35ミリ/カラー/95分/インドネシア/日本語・英語字幕付き

特別企画

60年代の中国の幼稚園を舞台とした中国映画の秀作。福岡初公開。

小さな赤い花

会期:10月23日(日)~10月26日(水) ※休館日除く

観覧料:600円(大人)/500円(大学生・高校生)/400円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※障がい者の方及び福岡市在住の65歳以上の方は300円。(手帳の提示が必要です。)

※「わの会」会員は300円(会員証の提示が必要です。)

10/23 (日) 11:00 | 23 (日) 14:00 | 25 (火) 14:00 | 25 (火) 19:00 | 26 (水) 14:00

小さな赤い花 *Little Red Flowers*

4歳のチアンは父親の仕事の都合で全寮制の幼稚園に預けられる。この幼稚園では良いことをすれば紙の赤い花がもらえ、逆に悪い事をすれば花を取り上げられた。チアンはまだオネショをして、着替えも一人ではできない。幼稚園に馴染めないチアンは劣等生となってしまう。次第に孤立するチアンは、先生達にとっては問題児となっていく。

原作はワン・シュオの半自伝的小説。小説の時代は50年代~60年代の北京だが、本作では特に時代を特定していない。それは映画で描かれる画一的な教育は、現在の中国の幼稚園もあまり変わらないという監督の考えから来ている。監督のチャン・ユアンは「北京パスターズ」(92年)「ただいま」(99年)「クレイジー・イングリッシュ」(99年)等で知られている、中国映画第6世代の鬼才。主人公のチアンと仲良くなるナンを監督の妻の娘が演じているのも興味深い。

2006年/35ミリ/カラー/92分/中国=イタリア/日本語字幕付き 監督:チャン・ユアン 出演:ドゥン・ポウェン ニン・ユアンユアン



3・月	休館日		
4・火	休映日		
5・水	14:00	虹の兵士たち	
6・木	14:00	夢追いかけて	19:00 永遠探しの3日間
7・金	14:00	GIE	19:00 ドゥルの少年期
8・土	11:00 永遠探しの3日間	14:00 虹の兵士たち	17:00 蚊帳の中
9・日	11:00 夢追いかけて	14:00 GIE	
10・月/祝	11:00 ドゥルの少年期	14:00 無神論者	
11・火	休館日		
12・水	休映日		
13・木	14:00	少女ポニラー	
14・金	14:00	無神論者	19:00 蚊帳の中
15・土	11:00 砂利道	14:00 母	17:00 少女ポニラー
16・日	11:00 ナガ・ポナール將軍	14:00 チュッ・ニャ・ディン	
17・月	休館日		
18・火	休映日		
19・水	14:00	一切れのパンの愛	
20・木	14:00	いきなり、グンドゥット	19:00 母
21・金	14:00	砂利道	19:00 ナガ・ポナール將軍
22・土	11:00 いきなり、グンドゥット	14:00 チュッ・ニャ・ディン	17:00 一切れのパンの愛
23・日	11:00 小さな赤い花	14:00 小さな赤い花	
24・月	休館日		
25・火	14:00	小さな赤い花	19:00 小さな赤い花
26・水	14:00	小さな赤い花	
27・木	休映日		
28・金	休映日		
29・土	自主上映/福岡映画サークル協議会第5回例会		
30・日	第19回 福岡市映像コンテスト		
31・月	休館日		

リリ・リザ監督とインドネシア映画

小さな赤い花

リリ・リザ監督 プロフィール



1970年生まれ。ジャカルタ芸術学院映画学部卒業後、ロンドンRoyal Holloway大学で映画を学ぶ。短編映画「Sonata Kampung Bata」がオーバーハウゼン短編映画祭で受賞し注目を浴びる。98年長編映画「Kuldesak」を4人の監督と演出。2000年初の単独監督作品「シェリナの冒険」が大ヒットを記録する。

2002年第2作「エリアナ エリアナ」が数多くの国際映画祭に招待される。以後「GIE」「永遠探しの3日間」が多くの映画賞に輝き、インドネシアを代表する監督となる。「虹の兵士たち」はインドネシアで興行収入第一位を記録。「虹の兵士たち」の続編「夢追いかけて」も大ヒットとなる。社会的問題を折り込みながらも大衆に受け入れられる作品制作は見事であり、リリ・リザ監督は芸術性と興行性を兼ね備えた希有の作家といえる。

特別企画

福岡市民芸術祭協賛

第19回 福岡映像コンテスト

福岡県内各地から送られてくるアマチュアによるビデオ作品のコンテスト。優秀作品には「福岡市長賞」などが贈られる。



会 期:平成23年10月30日(日)

10:00~ 表彰式/13:00~ 受賞作品上映

観 覧 料:無料

主 催:福岡映像協会

共 催:福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ実行委員会

お問い合わせ先:tel.092-801-1420(福岡映像協会)

自主上映のお知らせ

10月29日(土) 福岡映画サークル協議会第5回例会

上映作品:「誰が為に鐘は鳴る」①11:00~ ②14:00~

料 金:前売800円、当日1,000円

主 催:福岡映画サークル協議会 Saltサークル tel.092-781-2817

*自主上映の詳細については直接主催者にお尋ね下さい。

information

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表):tel.092-852-0600

映像資料課:tel.092-852-0608 fax.092-852-0609

福岡市総合図書館映像ホール・シネラ ホームページ

うえぶシネラ <http://www.cinela.com>

Access

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

市営地下鉄

西新駅または藤崎駅下車徒歩15分

西鉄バス

●博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分または博物館南口下車徒歩5分

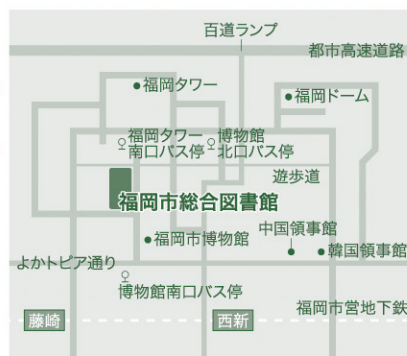
●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分

◎所要時間は交通事情により異なります。

バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用については

西鉄お客様センター[tel.0570-00-1010]に

直接お問い合わせください。



第10回プロムナードコンサート

◆◆◆月に一度のお昼休みのクラシックコンサート◆◆◆

日 時:2011年10月21日(金) 12:00~13:00 ※入場無料

場 所:西日本シティ銀行本店1Fエントランスホール(福岡市博多区博多駅前3-1-1)

曲 目:モーツァルト作曲 弦楽四重奏曲第22番変ロ長調 K.589 他

演奏者:福岡ハイドン弦楽四重奏団

主 催:財団法人福岡文化財団 TEL.092-473-6777

